

# 2024(令和6)年度学校自己評価システムシート(秀明高等学校)

目指す学校像	常に真理を追究し、友情を培い、広く社会に貢献する人間形成を目的とする
--------	------------------------------------

重点目標	①生徒たちに「知る喜び」と「学ぶ楽しさ」を実感させる教育を行う。 ②保護者の「信頼と期待に応える教育」を行う。 ③規則正しい生活習慣を身につけ、自立心や忍耐力、協調性など豊かな人間性を育む。
------	---

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。

※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学校自己評価					年度評価(3月31日現在)		
年度目標					年度評価(3月31日現在)		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
①	建学の精神を具現化し、魅力あふれる学校づくりを進めるために、以下の項目について、一層徹底する必要がある。 ・基礎・基本を徹底して確かな知識・技能を養い、思考力・判断力・表現力を育成する。 ・学校と家庭が連絡を緊密にとつて「共育」「協育」を進める。 ・生徒が志望する大学に進学できるよう適切な進路指導を行う。 ・イギリス英語研修で生きた英語を学ぶ機会を設ける。	学習指導の充実と志望進路の実現	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業、夜間学習、週末課題、大学入試過去問題演習、個別指導など、「きめ細かく面倒を見る学習指導」を行う。</li> <li>家庭からの「共育通信」をもとに学校と保護者が協力して生徒を育てる。</li> <li>生徒が志望する大学に合格できるよう、学習面のみならず精神面のサポートも行う。</li> <li>面接練習や小論文指導は、全教員で取り組み、万全の指導体制を構築する。</li> <li>イギリス英語研修は、現地の人々や他国からの留学生との交流を通して異文化理解を深められるよう計画する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査の他に学期ごとに実力テスト、校内模試を実施する。</li> <li>授業内でチェックテストを実施し、重要事項の定着を図る。</li> <li>学校からの通信である「秀明通信」を毎週配信する。</li> <li>家庭からの「共育通信」を随時受け付ける。</li> <li>面接練習や小論文指導を計画的に実施する。</li> <li>イギリス英語研修を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実力テストや校内模試を実施し、学習内容の定着と応用力養成を図った。</li> <li>「共育通信」により、学校と保護者が密に連絡を取り合うことができた。</li> <li>生徒を少人数グループに分けて面接練習や小論文指導を行った。</li> <li>一人一台のタブレットを用いて探究活動やプレゼンテーションを行った。</li> <li>Microsoft Teamsを活用して、長期休暇中にも受験生の質問に応じた。</li> <li>3週間のイギリス英語研修を実施し、イギリスの伝統や歴史を学ぶとともに、他国からの留学生との異文化交流を果たした。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>大学入学共通テスト等の高大接続改革に対応し、主体的・対話的で深い学び、探究活動の機会を増やす。</li> <li>複数教員から受験アドバイスが受けられる体制を確立する。</li> <li>大学入試情報を収集・分析し、適切かつ確かな進路指導ができるよう努める。</li> <li>全教室に設置されるプロジェクターを十分に活用し、ICTの更なる充実化を図る。</li> <li>イギリス英語研修のアクティビティを充実させる。</li> </ul>
②	生徒に「知る喜びと学ぶ楽しさ」を実感させ、次の授業に期待する気持ちを持たせるために、以下の項目について、さらに指導を徹底する必要がある。 ・生徒が主体的・協働的な学びに取り組むよう指導する。 ・授業技術の改善に努める。 ・生徒の疑問に対応するとともに、次の課題を的確に指示できるようにする。	授業の改善と指導力の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>カリキュラムマネジメントを進め、主体的・対話的で深い学び(アクティブラーニング)を導入した授業展開の技術を向上させる。</li> <li>大型モニターやタブレット端末などICT教材を活用し、生徒の理解を促す授業を展開する。</li> <li>教員は大学入試問題の分析などに励み、教科指導力を向上させる。</li> <li>授業アンケートを実施し、結果を踏まえて改善する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大学入学共通テストを分析し、思考力を試す問題に対応するための情報を収集する。</li> <li>国公私立大学の入試問題の出題傾向を調査・把握して授業に活用する。</li> <li>授業アンケートを年間5回実施する。</li> <li>授業アンケートの結果をもとに、教科指導力を向上させる。</li> <li>教員は各々の改善点を把握、検討し、よりよい授業を作り上げる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大学入試問題を研究し、教科指導力を向上させた。</li> <li>主体的・対話的で深い学びを重視し、ICTの活用にも努めた。</li> <li>授業アンケートを年5回実施した。</li> <li>全教員が年間5回の授業アンケートの結果をもとに、授業改善に取り組んだ。</li> <li>定期考査問題は、各教科内で議論、点検して、生徒の現在の学力を確かめるとともに受験に対応できる能力を養えるものにするよう努めた。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>大学入学共通テストを分析し、学習指導に活用する。主体的・対話的で深い学びを実践、生徒の理解力・判断力・表現力を育成する。</li> <li>次年度も年間5回の授業アンケートを継続し、授業改善に努める。</li> <li>授業を積極的に参観し、授業技術の向上を図る。</li> <li>オンライン学習教材の効果的な運用を研究する。</li> </ul>
	英語検定、ケンブリッジ英検、漢字検定、数学検定、世界遺産検定など資格試験に取り組んでいる。上位級の取得のために、計画的に学習させる指導を継続する必要がある。	資格試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語検定は、放課後や夜間学習を活用して継続的に指導し、生徒全員を上位級に挑戦させる。</li> <li>漢字検定や数学検定、世界遺産検定は、資格取得の利点を理解させ、生徒各々の実力に合わせた級から受験させるとともに、さらに上位級への挑戦意識を高めさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語検定…高校卒業までに2級が取得できるよう積極的に受験させる。上位生徒は準1級合格を目指して指導する。</li> <li>漢字検定…2級取得を目標として計画的に学習させる。</li> <li>数学検定…積極的に受験させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語検定…2級未取得者は全員受験した。</li> <li>漢検…2級未取得者は全員受験した。</li> <li>数検…受験希望者には、直前の対策講座を開講して動機づけを行った。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校挙げて受験対策に取り組む、上位級に挑戦させ、確実に合格させる。夜間や放課後の対策講座を充実させる。</li> <li>P検定を復活させる。</li> <li>生徒に資格試験取得の利点を理解させ、上位級への挑戦意欲が高まるよう指導する。</li> </ul>
③	寄宿舎生活及び学校生活全般において、以下の項目について指導を徹底する。 ・基本的な生活習慣を確立する。 ・5つの約束(お酒を飲まない、たばこを吸わない、盗みをしない、暴力をふるわない、不適切な交友関係を持たない)の厳守。 ・「心の学習」を充実させ、自分と他人の命を大切にすることを育み、善と悪の判断力を養う。	生活指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>頭髪・身だしなみの指導は、学年全体で統一して行う。</li> <li>いじめや嫌がらせは、アンケートや面談の実施により、常に生徒の状況を把握し、問題の解消に努める。</li> <li>善悪の区別をしっかりとつけさせる。</li> <li>新聞記事を素材として意見発表させるとともに、自分の考えを『自学自習の記録』に記入させ、健全な思考力・判断力・表現力を養う。</li> <li>体調不良時の迅速な対応、手洗い・マスク着用の奨励など、健康管理に留意する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>頭髪検査は月1回、身だしなみの指導は随時実施する。</li> <li>個別面談を定期的実施。また、必要に応じて随時行う。</li> <li>毎日主要な新聞記事を生徒に提示し、意見や感想を述べさせる。</li> <li>体調不良者は休養室で休ませるか、帰宅させるなど即時対応する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>頭髪検査は月1回、身だしなみ指導は随時実施した。</li> <li>担任面談は週1回以上、生活アンケートは月1回実施した。</li> <li>HRで「心の学習」を実施した。</li> <li>体調不良者への即時対応により、インフルエンザやその他の感染症の感染拡大を防ぐことができた。</li> <li>新型コロナウイルス感染症のために休止していた「朝の体操」を復活させ、健全な心身の育成を図った。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>人権意識を高め、行って良いことと悪いことの判断や、他人をいたわる心を養う指導を継続して行う。</li> <li>週1回以上の個別面談、月1回のアンケートを継続して行う。</li> <li>「心の学習」をより充実させ、深く思考し、自分の意見を文章で表現する力を養う。</li> </ul>

学校関係者評価
実施日2025(令和7)年3月15日
学校関係者からの意見・要望・評価等
<ul style="list-style-type: none"> <li>出席停止や欠席の期間中もMicrosoft Teamsによる授業参加ができて、安心できた。</li> <li>オンラインによる三者面談を通して、学校での様子や今後の課題を知ることができた。</li> <li>3年生の受験指導では、データに基づいた効果的な指導が行われ、医学部現役合格などの成果を挙げている。</li> <li>面接練習や小論文指導を、生徒を少人数のグループに分け、全教員が分担して繰り返し行っている。</li> <li>イギリス英語研修では生きた英語を学び、イギリスでの様々な経験を通して、英語学習への意欲を向上させることができた。ホームステイを復活させてほしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒一人ひとりに声をかけて指導されている。生徒一人ひとりのつまずきを見逃さずフォローされている。</li> <li>大学入学共通テストなど入試問題と関連付けて説明されていて、受験への意識が高まり、実力も養うことができる。</li> <li>生徒に考えさせるとともに、自分の考えを発表させるなど思考力・判断力・表現力の養成に力を入れ、実践力を伸ばす工夫がされている。</li> <li>定期考査には大学入試問題も出題されており、実戦的な学力が測れるようになっている。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>資格試験に積極的に挑戦させている。特に英語検定は、生徒全員が毎回上位の級を目標に過去問題演習に取り組み、良好な結果を出している。</li> <li>検定試験受験の申し込みから結果の発表まで、教員のサポート体制が行き届いている。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>「いかなるいじめも許さない」を実践し、厳正かつ迅速な対応をしている。</li> <li>挨拶の励行や頭髪・服装指導など、全教員が統一の基準で指導にあたり、来校者から生徒たちが進んで挨拶をしてくれて素晴らしいという評価を得ている。</li> <li>面談と生活アンケートによって、生活上の問題を早期に発見する体制を作っている。</li> <li>避難訓練など危機管理に関する各種訓練を実施するとともに、水や食料の備蓄がある。</li> <li>災害等の緊急時に備えて、保護者以外でも迎えが可能な「生徒引き渡しカード」が導入されて安心だ。</li> </ul>